



Russell
Hobbs

ラッセルホブス ベーシックブレンダー 2300JP



取扱説明書 保証書

本製品は家庭用です。業務用としては使用しないでください。

- この取扱説明書の裏表紙に保証書がついていますので、販売店とお買い上げ日のご記入を必ずお受けください。
- 必ずこの取扱説明書をお読みのうえ、正しくご使用ください。

はじめに

この度はラッセルホブス製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ラッセルホブス製品は、ヨーロッパを始め、世界各国で高い評価をいただいているイギリスの家庭用電気製品ブランドです。本製品は、ラッセルホブスから日本向けに特別に開発されたものです。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、商品使用にお役立てください。

この取扱説明書は安全なところに保管しておいてください。この製品を他人に譲渡する時は、取扱説明書も一緒に譲渡してください。また、包装は使用する前に取り払ってください。ただし、製品が正常に作動するのを確認するまで、梱包・包装類は捨てないでください。

目次

はじめに	2
安全上のご注意	3
各部の名称とはたらき	6
組み立て・分解方法	7
ご使用方法	8
便利にお使いいただくために	10
お手入れの仕方	11
ブレンダーでつくるレシピ	12
仕様	13
故障かな？と思ったら	14
アフターサービス	15

安全上のご注意

■ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、人体への危害や損害を未然に防止するためのものですので、必ずお守りください。

■お読みになった後は、お使いになる方がいつも見られる場所に必ず保管してください。

表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる内容を以下の2つに区分し、説明しています。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症※1等を負う可能性が想定される内容



注意

取り扱いを誤った場合、使用者が障害※2を負う可能性および物的損害※3のみの発生が想定される内容

※1 重症とは、失明や、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2 障害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



⊘の記号はしてはいけない「禁止」を示します。



一般的な禁止



水濡れ禁止



接触禁止



濡れ手禁止



分解禁止



●の記号は、必ずしていただく「強制」を示します。



必ず行う



差し込みプラグを抜く

安全上のご注意



警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症等
を負う可能性が想定される内容



子供だけで使わせたり幼児の手の届くところ
で使わないでください。また、ご使用
にならないときも、子供の手が届かないと
ころに置いてください。感電、けがをする
恐れがあります。

この製品は、安全に責任を負う人の監視
又は指示がない限り、補助を必要とする
人(子供を含む)が単独で機器を使用しな
いようにしてください。

電源プラグが入っている状態で、手やス
プーン、はしなど、調理材料以外のものを
ガラスボトルに入れしないでください。けが
をする恐れがあります。

火気の近くや不安定な台の上では使用し
ないでください。運転中に転倒した場合、
火災や故障する恐れがあります。

電源コードを製品本体に巻きつけた状態
で使用したり、傷付けたり、加工したり、無
理に曲げたり、引つ張ったり、ねじったり、
束ねたりしないでください。また、重い物
を載せたり、挟み込んだりしないでくださ
い。電源コードが破損し、感電する恐れが
あります。

交流100V以外では使用しないでください。



本体が故障したり、作動の際に異音がした
り、または傷ついた場合には、ご使用をお
止めください。そのまま使用し続けると災
害となる恐れがあります。



ガラスボトルの取り外しやお手入れの際、
使用時以外には必ずスイッチを切って電
源プラグを抜いてください。誤作動による
けがや火傷、絶縁劣化による感電や火災
の原因になります。

電源プラグを抜く時は、電源コードを持
たずに、必ず電源プラグを持って引き抜い
てください。感電やショートにより、発火す
る恐れがあります。

電源コードや電源プラグが傷んでいたり、
コンセントの刃の差し込みがゆるい状態
のときは使用しないでください。感電、
ショート、火災の原因となります。

電源プラグ、電源コードが異常発熱してい
る場合は、直ちに使用を止め、お求めの販
売店または弊社にご連絡ください。そのま
ま使用すると、ショートや発火の恐れがあ
ります。

電源プラグに埃が付着している場合は、よ
く拭き取ってください。埃がたまると付着
した部分から発火して火災の原因となり
ます。

電源プラグはしっかりとコンセントに差し
込んでください。故障の原因となります。



製品を水につけたり、風呂場や流し台など
水がかかる恐れのある場所の近くでは使
わないでください。また野外では使用しな
いでください。ショート・感電の恐れがあ
ります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししな
いでください。感電する恐れがあります。



改造はしないでください。修理技術者以
外の分解や修理はしないでください。火
災、感電、けがの原因となります。修理は
お買い上げの販売店または弊社にご相談
ください。

注意

取り扱いを誤った場合、使用者が障害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容



作動中に本体を動かさないでください。けがをする恐れがあります。

カッターブレードに直接触れないでください。けがをする恐れがあります。

モーター本体上部の安全スイッチに触れないでください。回転部が動き出してけがをする恐れがあります。

定格時間を超えての連続運転はしないでください。モーターが過熱して故障する場合があります。1分間連続運転したら3分間以上休ませてください。

ガラスボトルが空の状態での運転をしないでください。故障する場合があります。

必ず液体と一緒に調理してください。固形物だけで運転すると故障する場合があります。(アイスクラッシュを除く)

調理以外の用途で使用しないでください。故障する場合があります。

ガラスボトルには 40℃を超えるものを入れしないでください。ガラスボトルが破損する場合があります。

ガラスボトルには、最大500ml以下に材料を入れてください。運転中に調理物があふれたりして、故障する場合があります。

フタの取り付けや取り外し、フタを閉めていない状態のときは、作動させないでください。調理物が漏れて故障する場合があります。

ガラスボトルを洗浄する際に食器洗浄機や食器乾燥機を使用しないでください。破損する場合があります。

ガラスボトルは耐熱ガラスではありません。急激な加温、冷却はしないでください。温度差により、破損する場合があります。

本製品はフードプロセッサーやミキサー、ミル、グラインダー、スライサーといった、全ての下ごしらえ調理器具の代わりとなるものではありません。食材をこねたり、挽いたり、すり潰したり、泡立ったりする使い方はしないでください。故障の原因となります。

アイスクラッシュは、家庭用冷凍庫で作った氷を使用してください。それ以外の氷を使用すると、故障する場合があります。



定格容量を守ってください。容量が少なすぎたり、容量を超えた状態で使用すると故障する場合があります。

製品のカッターは消耗品です。劣化したカッターを使い続けると故障の原因となります。回転させて異音がしたり異変を感じたらカッター台を交換してください。新しく購入する場合は販売元にご相談ください。

使用後は必ず分解して洗浄してください。分解せずに洗浄すると汚れがたまり不衛生になり、体に害をおよぼす恐れがあります。また、商品の劣化を早め、故障の原因となる場合があります。

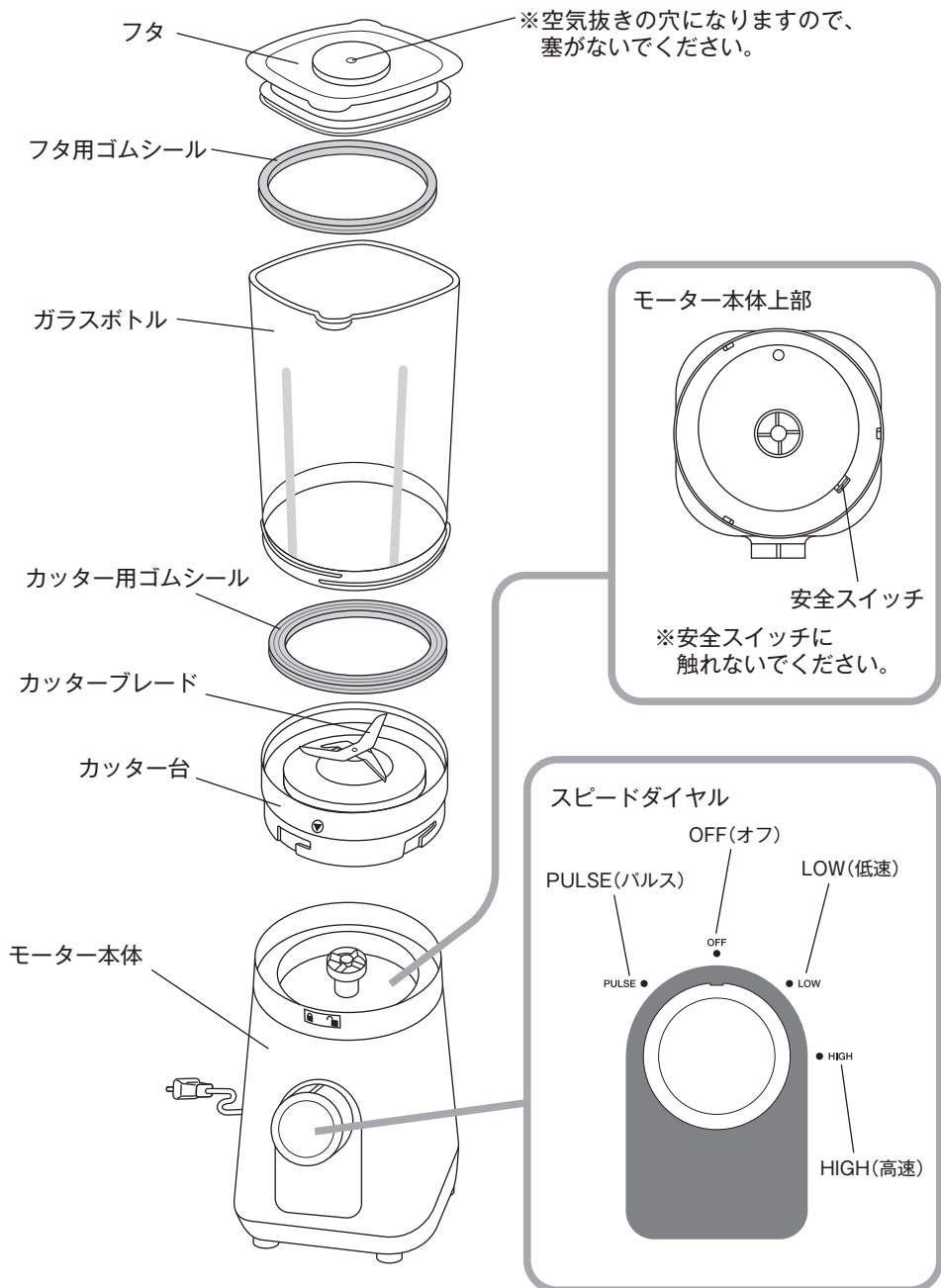
注意

モーターに負荷がかかると、安全装置が作動して停止します。停止した場合は以下の手順を行い、モーター復帰を試してください。

- ① スピードダイヤルを OFF に戻す。
- ② プラグをコンセントから抜く。
- ③ 本体を 30分間以上休ませてクールダウンさせる。

安全装置が繰り返し作動するような使い方はしないでください。故障の原因となります。

各部の名称とはたらき

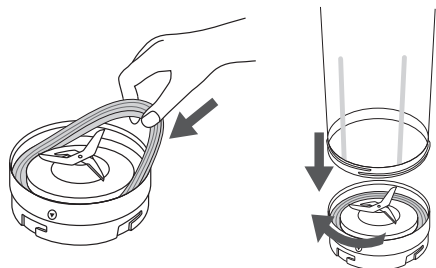


組み立て・分解方法

初めてご使用になる時や長期間使わないで保管してあった場合は、洗浄をしてください。(お手入れの仕方P 11 参照)

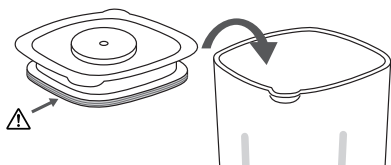
組み立て方法

1. カッター一台にゴムシールを取り付けます。カッター一台をガラスボトル底に当てて、時計回りに回してしっかり閉め、カッター一台を取り付けてください。



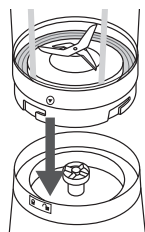
- ⚠️ カッターブレードが手などに触れないようご注意ください。
- カッター台はしっかり回して閉めてください。装着が緩いと液漏れにより故障する恐れがあります。

2. ガラスボトルにフタを装着してください。

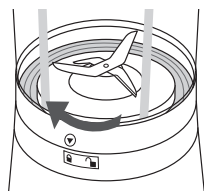


- ⚠️ フタにフタ用ゴムシールが装着されているか確認してください。

3. ガラスボトルに取り付けたカッター台の▼マークとモーター本体の開錠マーク位置を合わせて装着します。

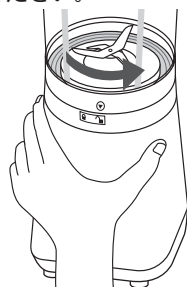


4. ガラスボトルをモーター本体の開錠マークから施錠マークの方向(時計回り)に回します。カチッとロックされる手ごたえを感じるまで回してください。ロックされていないと安全装置が働き作動しません。



分解方法

1. 片手でモーター本体をしっかり支え、もう一方の手でガラスボトル上部をつかみ、モーター本体の施錠マークから開錠マークの方向(反時計回り)に回して取り外してください。



- ⚠️ ガラスボトルを取り外す際は、カッター台ではなくモーター本体を押さえてください。カッター台からガラスボトルが外れ、液漏れによる故障やカッターブレードでけがをする恐れがあります。

2. ガラスボトルからフタを取り外してください。

3. ガラスボトルからカッター台を時計回りに回して取り外してください。

- ⚠️ カッターブレードが手などに触れないようご注意ください。

ブレンダーのご使用方法

ブレンダーとは

ブレンダーとは材料の粉碎、攪拌を行う調理器具です。材料を入れて回転させる際に、空回りしたり、大きな負荷がかかりすぎるのを防ぐため、水や牛乳等の液体を必ず入れる必要があります。

禁止材料

以下のような材料を入れて調理しないでください。故障や破損の原因になります。

- 繊維や筋の多いもの（肉・魚など）
- 粘り気の強い材料（とろろいもなど）
- 硬い材料・乾物類（鰹節、煮干、昆布、乾燥大豆、穀類、市販の氷など）
- 冷凍した食材（野菜、果物）
- 油分の多いもの（オイル、マヨネーズなど）

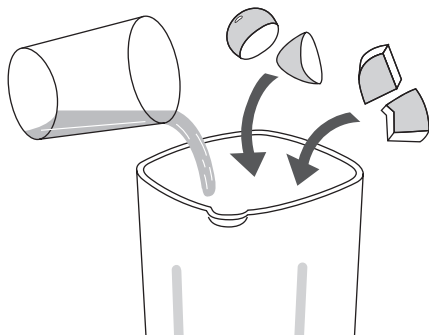
ご使用方法

1. ガラスボトルに材料を入れる

材料は、皮やしん、ヘタを取り、約1～2cm角に切ります。材料が熱い場合は40℃以下に冷まします。

材料を入れる順番は液体→柔らかいもの→かたいものの順番で入れてください。

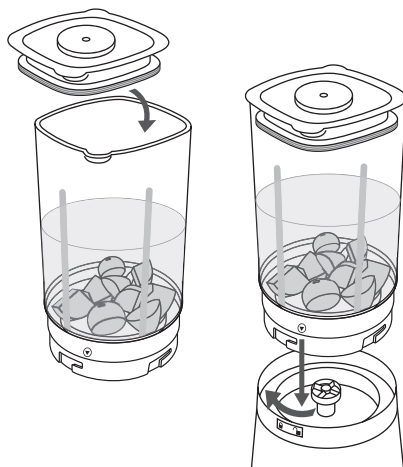
- ⚠
- 材料投入時は最大容量500ml以下を目安にしてください。
空気を含むと容量が膨らみガラスボトルのMax 600mlを超える場合があります。
運転中に調理物が飛び出る場合は、容量を減らしてください。
 - 水や牛乳等の液体を必ず入れてください。
 - 材料と液体の割合は2:3にしてください。
 - ガラスボトルは耐熱ガラスではありません。
40℃以上の材料を入れないでください。



2. ガラスボトルをモーター本体に取り付ける

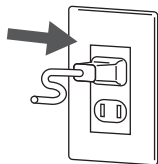
フタをしっかりと閉めたら、ガラスボトルをモーター本体に取り付けてください。

- ⚠
- フタの取り付けや取り外し、フタを閉めていない状態のときは、電源プラグを抜いてください。



3. 電源プラグをコンセントに差し込む

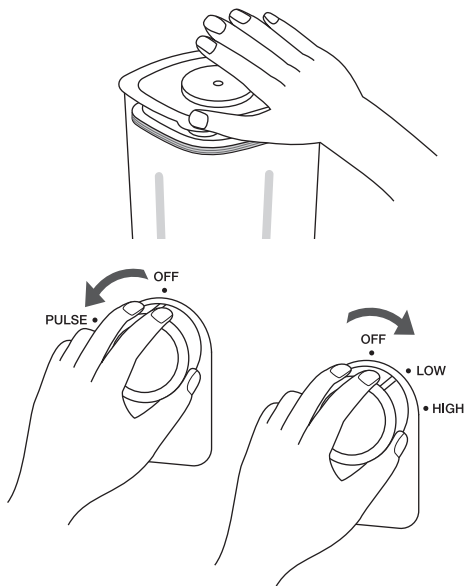
スピードダイヤルがオフになっている状態を確認して、電源プラグをコンセントに差し込みます。



4. 調理を開始する

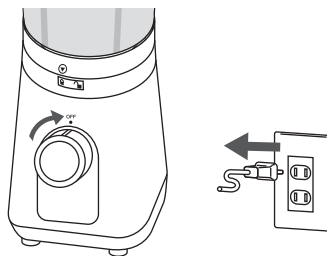
片手でフタを押さえながらスピードダイヤルを PULSE に何度か入れます。材料が細かくなったら LOW か HIGH に入れて連続運転させます。

- ⚠️ 1 分間連続運転したら 3 分間以上休ませてください。
- ガラスボトルがモーター本体にロックされていないと安全装置が動き作動しません。
- 運転中にフタの穴を塞がないでください。フタとガラスボトルの間から調理物が漏れる恐れがあります。



5. 調理が終わったら、スピードダイヤルを OFF にする

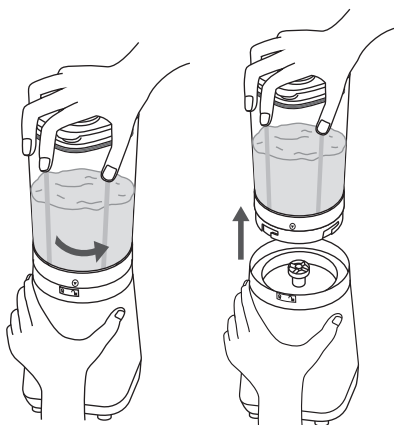
お好みの状態になったらスピードダイヤルを OFF にしてコンセントから電源プラグを抜きます。



6. 調理物を取り出す

カッターブレードが完全に止まるのを確認してからガラスボトルをモーター本体から取り外します。フタを外し、調理物を取り出してください。

- ⚠️ ガラスボトルを取り外す際は、片手でモーター本体をしっかり支え、もう一方の手でガラスボトル上部をつかんでください。カッター台からガラスボトルが外れ、調理物が流れ出す恐れがあります。
- 調理物が取り出しにくい場合は、ゴムベラなどを使って取り出してください。



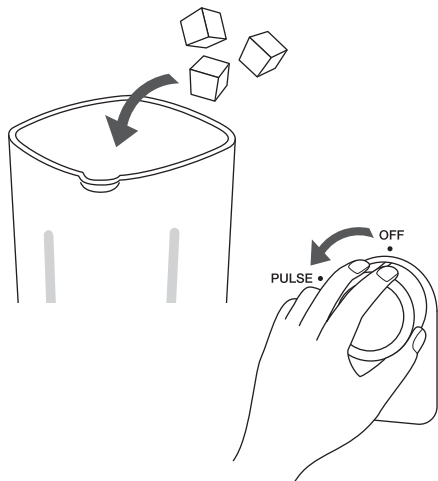
ブレンダーをより便利にお使いいただくために

PULSE (パルス) の使用方法

スピードダイヤルを手動で PULSE に合わせている間だけ HIGH スピードで回転し、材料を砕く加減を細かく調整することができます。手を離すと OFF になります。

アイスクラッシュの方法

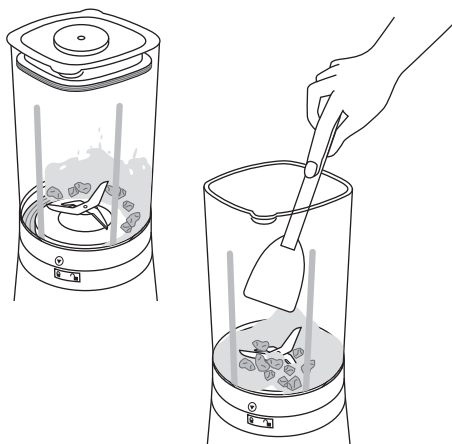
氷だけを粉碎する場合は、約2cm角の氷50gを入れ、PULSEを何度か入れて攪拌してください。



- ⚠️ 家庭用冷凍庫で作った氷を使用してください。
- 氷が大きすぎたり、多く入れすぎたりすると、上手く粉碎されない場合があります。
- 氷以外に、果物等の材料と一緒に粉碎させる場合は、必ず液体を加えてください。

カッターブレードが空回りしてしまう場合は

操作中に、カッターブレードが空回りしてしまう場合は、回転を止めて電源プラグを抜き、フタを開け、ゴムベラなどを使って材料をカッターブレードに寄せ、再度回転させてください。これを何度か繰り返しながら、攪拌してください。



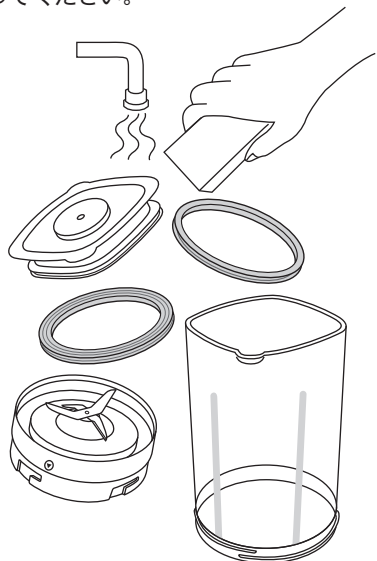
- ⚠️ ガラスボトルの中の材料をスプーンやゴムベラ等を使用して混ぜるときは、電源プラグを抜いた状態で行ってください。

お手入れの仕方

初めてご使用になる時や長期間使わないで保管してあった場合は、洗浄をしてください。また、ご使用後は毎回お手入れをしてください。

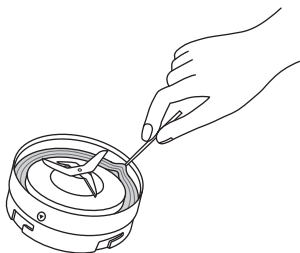
ガラスボトル、フタ、カッター台、ゴムシールのお手入れの仕方

ガラスボトル、フタ、カッター台、ゴムシールを分解して水洗いしてください。洗浄後は、自然乾燥させるか清潔な布で水気を拭き取ってください。



※ゴムシールの外し方

- 爪楊枝などを溝に差し込み、引っ掛けて外します。



⚠ カッターブレードが手などに触れないようご注意ください。

モーター本体のお手入れの仕方

外装部を湿らせた柔らかい布で拭いてください。



- ⚠ 付属品の取り付け・取り外しやお手入れの際には必ず電源プラグを抜いてください。
- 使用後は必ず分解して洗浄してください。
- カッターブレードに手を触れないようご注意ください。カッター台を洗浄する際は、ブラシ等をご使用ください。
- 食器洗浄機や食器乾燥機を使用しないでください。
- カッター台は浸け置き洗いなど、長時間水につけたまま放置しないでください。
- モーター本体の拭き取りにアルコール、ベンジン、シンナー、磨き粉、タワシなどは使用しないでください。

ブレンダーでつくるレシピ

グレープフルーツとパイナップルの爽快ジュース (2人分/約300ml)

<材料>

- グレープフルーツ 1/4個 (60g)
- パイナップル 60g
- ハチミツ 大さじ2
- 炭酸水 180ml

<作り方>

- ① グレープフルーツは皮と薄皮をむいて果肉だけにする。パイナップルは約1～2cm角に切る。
- ② ブレンダーに炭酸水と①を入れ、PULSEを約5回。
- ③ フタを開けてハチミツを入れ、さらにPULSEを約5回、その後お好みのブレンダー状態になるまで連続回転させる。

いちごシェイク (2人分/約400ml)

<材料>

- いちご 5粒 (100g)
- いちごアイスクリーム 20g
- ヨーグルト 30g
- 牛乳 150ml

<作り方>

- ① いちごは洗ってヘタを取る。
- ② ブレンダーに材料を全て入れ、PULSEを約5回、その後お好みのブレンダー状態になるまで連続回転させる。

グリーンスムージー (2人分/約400ml)

<材料>

- 小松菜 1/3束 (40g)
- キウイ 1/4個 (30g)
- バナナ 1/2本 (50g)
- 豆乳 180ml
- ハチミツ 大さじ2

<作り方>

- ① バナナ、キウイは皮をむいて約1～2cm角に切る。小松菜は洗って約1～2cmの長さに切る。
- ② ブレンダーに豆乳と①を入れ、PULSEを約5回。
- ③ フタを開けてハチミツを入れ、さらにPULSEを約5回、その後お好みのブレンダー状態になるまで連続回転させる。

仕様

電源	100V 50/60Hz
消費電力	300W
サイズ	約 W12.0 × D13.0 × H32.0cm
本体重量	約 1.8kg
定格容量	約 600ml (材料投入時 最大容量 500ml)
定格時間	1 分
コードの長さ	約 1.0m

故障かな？と思ったら

以下のことをお確かめになり、それでも症状が改善しない場合には、お買い上げの販売店、もしくは弊社までご連絡ください。

不具合の状態	確認・対策
スピードダイヤルを回しても作動しない 使用中に止まる	<ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグがコンセントに入っているか確認してください。 ・ガラスボトルがモーター本体に正しく装着されているか確認してください。 ・材料を多く入れすぎたり、材料が大きすぎたり、禁止材料を入れていませんか？※² ・モーターに負荷がかかると、安全装置が作動して停止します。停止した場合は以下の手順を行い、モーター復帰を試してください。 <ol style="list-style-type: none"> ① スピードダイヤルを OFF に戻す。 ② プラグをコンセントから抜く。 ③ 本体を 30 分間以上休ませてクールダウンさせる。
調理物が漏れる	<ul style="list-style-type: none"> ・材料は 500ml 以下に入れてください。 ・フタやカッター台の装着が緩んでいないか確認してください。 ・フタやカッター台にゴムシールを装着しているか確認してください。
作動させるとフタの穴から調理物が飛び出る	<ul style="list-style-type: none"> ・液体を多く入れすぎると、調理物が飛び出る場合がありますので分量を調整してください。
作動させると異音がする 振動が大きい	<ul style="list-style-type: none"> ・材料を多く入れすぎたり、材料が大きすぎたり、禁止材料を入れていませんか？※² ・液体を入れているか確認してください。 ・長期間、同じカッター台を使い続けていませんか？※¹
カッターブレードが空回りする	<ul style="list-style-type: none"> ・材料を多く入れすぎたり、材料が大きすぎたり、禁止材料を入れていませんか？※² ・液体を入れているか確認してください。 ※上記内容について問題がない場合には、P10「カッターブレードが空回りしてしまう場合は」を参照。
モーター本体が熱くなる 焦げたにおいがする 回転させると煙が出る	<ul style="list-style-type: none"> ・定格時間 1 分を超えて、連続運転していませんか？ ・材料を多く入れすぎたり、材料が大きすぎたり、禁止材料を入れていませんか？※² ・液体を入れているか確認してください。 ・長期間、同じカッター台を使い続けていませんか？※¹

※¹ カッター台は消耗品です。通常のご使用で 1 年を目安にカッター台を交換してください。部品のお取り寄せは P15 「部品のご購入について」をご参照ください。

※² P8 「禁止材料」をご参照ください。

アフターサービス

保証について

この取扱説明書の内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

- ・この取扱説明書には、保証書がついています。保証書は販売店にて販売店名、お買い上げ日の記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。
- ・保証期間はお買い上げ日から1年間です。無料保証規定の内容により、無料修理、またはお取り替えいたします。（保証期間でも有料修理となる場合がありますので、無料保証規定をよくお読みください。）
- ・保証期間後の修理は、販売店または弊社までご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

部品のご購入について


本製品は本体以外は消耗品です。付属品や部品、消耗品のご購入については、お買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。

製品の付属品・部品のお取り寄せは、株式会社大石アンドアソシエイツの公式オンラインショップでもお買い求めいただけます。

<https://oishi-online.com/>

修理を依頼される場合

- ・P 14 「故障かな?と思ったら」をご確認頂いても改善されない場合はご使用をやめて、無料保証規定並びに保証書の内容をよくお読みいただき、お買い上げの販売店または弊社にご連絡の上、修理をお申し付けください。
- ・修理をお申し付けの際は、商品名と故障の状態を詳しくお知らせください。

 自分で分解・修理は絶対しないでください。火災、感電、けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。

弊社修理受付

お取り扱い、お手入れについてのご不明な点や、修理のお問い合わせは、お買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。

株式会社 大石アンドアソシエイツ

フリーダイヤル

 0120-520-227

受付時間 / 10:00 ~ 17:00

(土・日・祝日および弊社休業日を除く)

〒151-0053

東京都渋谷区代々木3-28-6-8F

お客様の個人情報は、弊社製品のご相談への対応や修理などに利用させていただき、ご相談内容の記録を残すことがあります。なお、修理やその確認業務を弊社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

